



R4.3.24(木)松井田東中学校閉校式 校長あいさつ

先ほどは、教育長様より心温まるごあいさつを頂戴し、感謝の気持ちで一杯です。また、本日はお忙しい中、教育長様をはじめ、PTA を代表して本部役員の皆様にもご臨席を賜りました。心より感謝いたします。昨日は雪化粧をまとっていた妙義山も、温かな春色の空とともに、本日の閉校式を万感の思いで見守ってくれているように感じます。

さて、2週間前の3月11日には、在校生や保護者、先生方に見送られながら、60 回目となる卒業証書授与式が行われ、32 名の生徒たちが巣立っていきました。そして、いよいよこの松井田東中学校そのものが卒業を迎える日が近づいてきました。昭和 37 年に碓氷郡松井田町立東中学校として開校して以来、60 年間という長きにわたって雨の日も風の日も、毎日生徒たちを温かく迎え、6,400 名もの卒業生を世に送り出してきたこの学校も、あと一週間で歴史の幕を閉じることになります。開校当時は 600 名近いた全校生徒も、今では 100 名を下回る生徒数となりましたが、開校以来、勉強もスポーツもたいへん盛んな学校で、野球部は県大会で優勝したこともあと聞いています。平成 18 年 3 月 18 日には、旧安中市と松井田町が合併し、安中市立松井田東中学校に校名が変更されました。平成 24 年 4 月には、松井田西中学校との統合もありました。本年度末で開校して 60 年目、校名変更して 15 年目となり、不思議な縁を感じます。

昭和 51 年 3 月から毎月生徒のみなさんに志を届けてくださり、46 年間にわたって応援し続けてくださった方の思いも忘れてはいけません。改めて校長室前に置いてある封書を見つめて、送り主の思いを感じてみてください。いまだにどなたが送ってくださったのかわかってはいませんが、みなさんの感謝の気持ちはきっと届くのではないかと信じています。

第〇〇回卒業生 第〇〇〇〇号 これは、本校職員でもあり、本校の卒業生でもある私の卒業証書に書かれた卒業生番号です。私は、今から〇〇年前、昭和〇〇年 3 月に本校を卒業しました。校歌ができてから〇年後のことです。今日は、私にとってその後の人生を左右した、当時の忘れられない思い出をみなさんに伝えたいと思います。当時、野球部に所属していたことはみなさん知ってのとおりです。いま、野球部員は 1 名になってしまいましたが、当時は同級生の部員だけでも 15 名もいたほどです。いま〇〇〇〇くんが着用しているこの野球帽のデザインは、私たちが 3 年生の時に新たにデザインしたものです。以来、数十年間にわたって後輩に受け継がれてきました。当時の野球部は第一中学校の全盛期で、2 年生の時の新人戦も、3 年生の時の春の大会も全く歯が立ちませんでした。悔しくて悔しくて、絶対に一中に勝ちたいと思った私たちは、2泊3日の修学旅行にグローブとボールを持ち込み、海岸で早朝のランニング、そしてホテルの庭でピッチング練習を行い、休むことなく練習を続けました。そして、迎えた 3 年生最後の夏の大会の決勝戦はその一中を相手に 9 回を終わって 0 対 0、両者一步も譲らず延長戦へ。そして運命の 12 回を迎えるのです。夏の炎天下で投げ続けた私は、その前の打席でチャンスで打ち取られ、気落ちしていました。降り注ぐ夏の太陽の光の中で、心のどこかでもうだめだと思ってしまったのです。立て続けに 2 つのフォアボールを出し、次の打者を打ち取ったと思ったフライが内野と外野の間にポトリと落ちて、これが決勝点となり 1 対 0 で敗けてしまいました。私の中学野球は一度も市の予選を突破することなく幕を閉じることになります。その後、あの時あきらめていなければ、チームのみんなに申し訳ないことをしたと、ずっと後悔の思いを持ち続けて生きてきました。

縁あって、教師として母校に赴任することになった平成〇年、私は野球部の顧問となり、後輩の指導にあたることになりました。そこで、最初の年の夏にキャプテンを交通事故で亡くしたことは以前にみなさんに話した通りです。海外派遣に参加するため県大会に出場することのできなかったキャプテンの分までと奮起したその時のチームは、夏の県大会で 1 回戦、2 回戦ともに劇的なサヨナラ勝ちで勝利を収めます。残念ながら準々決勝では逆にサヨナラ負けを喫し、ベスト 4 進出はなりませんでした。自分ができなかった「最後まであきらめない心をもつことの大切さ」を、後輩たちが身をもって示してくれました。みなさんに伝え続けてきた「チャレンジ～一步を踏み出す勇氣」もこんな私の経験からきているところです。海外派遣から帰国したキャプテンへの結果報告を翌日に控えた 8 月 9 日、彼は再び会うことはなく交通事故で帰らぬ人となってしまいました。

長年顧問を務めてきた野球部の選手たちから学んだ事は、心がけ次第で No.1 になれることがあるということです。それは、やる気とあいさつです。やる気は成長につながり、あいさつはよりよい人間関係を築くことにつながります。練習試合で大敗しても、また試合をしたいと他校から申し出てくれる、そんな野球部の後輩たちが私の誇りでした。当時の本校はそんなよき校風が全校に満ちており、よき伝統として受け継がれていた気がします。みなさんは、この 1 年間、2 年間で、本校でどんなことを学んだでしょうか。

幸いにも 4 月から開校する松井田中学校は、この校舎を使用することになります。生徒のみなさんは、60 年間続いた伝統ある松井田東中学校と、これから数十年間続くであろう松井田中学校の懸け橋となるのです。美しい虹のように。楽しかったことも悔しかったこともすべてこれからの成長の糧となります。オンリーワンの個性を大切にしながら、やる気とあいさつではぜひ No.1 を目指してください。この学校で芽生えた新しい成長の芽を、松井田中学校へと引き継いで、太陽の下でひまわりのようにまっすくにすくすくと目標に向かって歩み続け、大きな花を咲かせてください。6,400 名の卒業生と保護者、そして本校を支えてくださった地域の方、歴任された教職員全員でいつまでも見守っています。

話は尽きませんが、松井田東中学校への 60 年間の感謝と惜別の思いを込めて閉校にあたってのあいさつといたします。生徒のみなさん、本校の生徒であったことに誇りをもって、新しい中学校の歴史の扉をみんなと一緒に開きましょう！

令和 4 年 3 月 24 日 安中市立松井田東中学校 校長 田島 浩之